

令和 7 年度 国語科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解して適切に使うことができるようにする。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 指定教科書

国語	2 年	教科書名（出版社）	国語 2（光村図書） 中学書写一・二・三年（光村図書）
		副教材	学習漢字ノート二年（浜島書店） 積み上げ（明治図書） まんがで理解楽しい文法（東京法令）国語便覧（浜島書店）

3 学習到達目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ・我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養う。
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものとできるようにする。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書し、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

- ・教科書の单元ごとに学習内容と到達目標を提示し、また各時間の学習内容をつねに意識させる。
- ・一斉の学習、グループでの学習、個別の学習を学習内容及び到達目標に合わせて適切に設定して進める
- ・前項の内容を達成するために、ワークシート、副教材を適切に利用する。
- ・さまざまな場面での対話と活用していく。

○思考力・判断力・表現力の育成

- ・正確に内容を読み取る力、聞き取る力を高める。また、それらをもとに自己の考えを整理する能力を高める。
- ・相手に正確に伝わるかを意識しながら、書いたり、話したりする能力を高める。
- ・自分の考え言葉や文章にして発表する。また、他の意見や文章を読み、講習する機会を設ける。

【望ましい家庭学習】

国語の力は、授業だけではなく、日常生活の中でも養われる。日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、家族や友人と会話をする中で、使える言葉の数を増やす。また、読んだことや聞いたことについて、「なんでだろう・どうしてなのか。」など、自分で考えてみるとさらによい。漢字の学習は毎日少しずつ進めていく。また、語句、漢字、表現等の学習に e ライブラリを活用する。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

○補充学習

- ・学習の状況に応じて、必要があれば随時実施する。
- ・夏期休業中に、課題ごとに設定し実施する。

○タブレットの活用

- ・家庭学習、休業中の課題として、eライブラリでの学習を推奨する。
- ・国語的な調べ学習（文学史、作家の略歴）において、活用を図る。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
一学期	見えないだけ（１） アイスプラネット 漢字に親しもう！（４） [聞く] 意見を聞き、整理して検討する（１） 文法への扉Ⅰ 単語をどう分ける？ 文法Ⅰ 自立語（２） 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする（５） 枕草子 [書く] 自分流「枕草子」を書こう（３） クマゼミ増加の原因を探る（４）	【知・技】語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ) 【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ)	【知識・技能】 ・定期考査 ・単元テスト ・漢字テスト ・学習プリント 【思考力・判断力・表現力】 ・定期考査 ・単元テスト ・学習プリント ・発表活動等 【主体的に学習に取り組む態度】 以下の観点により、学習活動・学習プリント・発表で行う。 ・粘り強く、表現を工夫しているか。 ・学習の見通しをもって自分の考えを示そうとしているか。

	情報整理のレッスン 思考の視覚化（１） 情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る（５） 漢字Ⅰ 熟語の構成 漢字に親しもう２（１） 短歌に親しむ 〔書く〕短歌の創作教室 短歌を味わう（５）（読②書③） 言葉の力（２） 言葉Ⅰ 類義語・対義語・多義語（２） 語彙を豊かに メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる（２） 読書を楽しむ（１） 翻訳作品を読み比べよう（１） 星の王子さま コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ((2)イ) 【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ((2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【知・技】第Ⅰ学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【知・技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ) 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	
二学期	ヒューマノイド（４） 字のない葉書（３）	【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)	

	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く (3) [推敲]表現の効果を考える (1) 言葉 2 敬語 (1) 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す (2) 漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう 3 (1) モアイは語る——地球の未来 (5) 思考のレッスン I 根拠の吟味 (1) 適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く 聴きひたる 月夜の浜辺 (1) 音読を楽しむ 平家物語 「平家物語」の世界／ 「平家物語」の主な登場人物たち (1) 扇的 —— 「平家物語」から (3)	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ) 【知・技】敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ) 【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。((1)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【知・技】 ・第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れ	
--	--	---	--

	仁和寺にある法師 ——「徒然草」から 〔書く〕人物の特徴を捉えて論じよう (3) 漢詩の風景 (3) 君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ (5) 思考のレッスン2 具体と抽象 (1) 〔話し合い(進行)〕 話し合いの流れを整理しよう (1) 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 文法2 用言の活用 (2) 立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる (4) 漢字に親しもう4 (1) 「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば／ 六千回のトライの先に 読書案内 本の世界を広げよう	ものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) 【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ((3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ((2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((1)オ) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	
--	--	---	--

三学期	走れメロス 〔書く〕 作品の魅力をまとめ、語り合おう 漢字に親しもう 5 (8) 文法への扉 3 一字違いで大違い 文法 3 付属語 (2) 描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く (5) 言葉 3 話し言葉と書き言葉 (2) 漢字 3 送り仮名 (2) 国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る (4) 鍵 (2) 国語の力試し (3)	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。((1)オ) 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ) 【知・技】第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【知・技】 ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。((1)エ) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	
-----	--	--	--

書写（年間 2 0 時間程度）			
学 期 1 ・ 2	行書を使いこなそう（10）	[知]行書では、速く書くために点画を省略したり筆順を変えたりすること があることを理解している。 [技]行書の「点画の省略」「筆順の変化」を確かめながら、毛筆・硬筆で書 いている。	【技能・知識】 ・授業観察 ・提出作品 【思考力・判 断力・表現力】 ・提出作品
2 学 期	生活に生かそう（4）	[知]便箋や封筒を書くときのきまりを理解している。 [技]これまでに学習してきた知識・技能を生かして書いている。	
	書き初め（3）	[知]書き初め用紙に書くときの姿勢や書き進め方とともに、課題文字の特 徴を理解している。 [技]学習してきた技能を生かして、配列を意識して書いている。	
3 学 期	書体を使い分けよう（3）	[知]読み手・目的・状況を考えて書体を選択するとよいことを理解してい る。	

令和7年度 社会科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

我が国の国土及び日本の諸地域に対する関心を高め、自分で調べたことや資料に基づき多面的・多角的に考察する力を養う。また、我が国の歴史についての大きな流れをつかみ、時代の繋がりを捉えながら学習する。

2 指定教科書

社会	2年	教科書名(出版社)	中学生の地理(帝国書院)／新編 新しい社会 歴史(東京書籍)
		副教材	歴史の完全学習2・3(正進社)、地理の完全学習2(正進社)、3観点評価チェック15分(明治図書)

3 学習到達目標

- ・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に広い視野で物事を考えられる力を養う。
- ・我が国の国土及び日本の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解する。
- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解する。
- ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する。

4 学習の進め方

○授業の進め方

- ・授業プリントやパワーポイント資料を活用し、単元に関連する資料を提示したり身近な事象を用いたりするなどして、学習のイメージがわくようにする。

○タブレットの活用

- ・必要に応じて授業内や家庭学習に活用してできるように、授業で扱う資料やまとめた資料を共有する。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・レポート、提出物(ワーク、長期休業中の宿題など)、学習カード、単元テスト(単元ごと)

○単元テストについて

- ・単元の終わりに行います。時間は15～20分程度のテストです。

○その他のポイント

・

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期	【歴史的分野】 第 4 章 近世の日本(4) 1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ①ヨーロッパ世界の変化 ②ヨーロッパ世界の拡大 ③ヨーロッパ人との出会い ④織田信長・豊臣秀吉による統一事業 ⑤兵農分離と秀吉の对外政策 ⑥桃山文化 【地理的分野】 第3部 日本のさまざまな地域 第1章:身近な地域の調査(4) 第 2 章:日本の地域的特色(11) 【歴史的分野】 2 節 江戸幕府の成立と对外政策の変化(5) ⑦江戸幕府の成立と支配の仕組み ⑧貿易の振興から「鎖国」へ ⑨江戸時代の对外関係 ⑩琉球王国やアイヌ民族との関係 ⑪さまざまな身分と暮らし 3 節 産業の発達と幕府政治の推移 ⑫農業や諸産業の発展 ⑬都市の繁栄と交通路の整備 ⑭幕府政治の安定と元禄文化 ⑮享保の改革と社会の変化 ⑯田沼意次の政治と寛政の改革 ⑰新しい学問と化政文化 ⑱外国船の出現と天保の改革	<知識・技能> ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の对外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。 <思考・判断・表現> 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <知識・技能> 地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。 <思考・判断・表現> 対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。 <知識・技能> 日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。 <思考・判断・表現> 日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 <知識・理解> 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の对外政策と对外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 <思考・判断・表現> 統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と对外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <知識・技能> 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している <思考・判断・表現> 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物
2 学期	【地理的分野】 第 3 章:日本の諸地域 1 節 九州地方(6) (自然環境／生活／農業／工業／南西諸島) 2 節 中国・四国地方(6) (自然環境／生活／工業／農業／観光) 3 節 近畿地方(6) (自然環境／生活／工業／歴史景観／林業・漁業) 4 節 中部地方(6) (自然環境／工業／東海／中央高地／北陸) 5 節 関東地方(7) (自然環境／首都東京／東京大	<知識・技能> ・九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 <思考・判断・表現> ・九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方について、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物

	都市圏／産業／工業／農業) 6節 東北地方(6) (自然環境／生活文化／稲作・畑作／果樹栽培・水産業／工業) 7節 北海道地方(6) (自然環境／生活／稲作／畑作・酪農・漁業／観光)		
3学期	【歴史的分野】 第5章 開国と近代日本の歩み(20) 1節 欧米における近代化の進展 ①イギリスとアメリカの革命 ②フランス革命 ③ヨーロッパにおける国民意識の高まり ④ロシアとアメリカの拡大と発展 ⑤産業革命と資本主義 2節 欧米の進出と日本の開国 ⑥欧米のアジア侵略 ⑦開国と不平等条約 開国後の政治と経済 江戸幕府の滅亡 3節 明治維新 ⑧新政府の成立 ⑨明治維新の三大改革 ⑩富国強兵と文明開化 ⑪近代的な国際関係 ⑫国境と領土の確定 ⑬領土をめぐる問題の背景 ⑭自由民権運動の高まり ⑮立憲制国家の成立 4節 日清・日露戦争と近代産業 ⑯欧米列強の侵略と条約改正 ⑰日清戦争 ⑱日露戦争 ⑲韓国と中国 ⑳産業革命の進展 ㉑近代文化の形成	<知識・技能> 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 <思考・判断・表現> 工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <知識・技能> アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したこと、開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化し、江戸幕府が滅亡したことを理解している。 <思考・判断・表現> ヨーロッパでの工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、江戸幕府の滅亡について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <知識・技能> 富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したこと、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。 <思考・判断・表現> 明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	<知識・技能> ・定期考査 ・単元テスト <思考力・表現力・判断力> ・定期考査 ・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・定期考査 ・単元テスト ・単元レポート ・提出物

令和 7 年度 数学科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・数量や図形などについての基礎的な概念を理解し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2 指定教科書

数学	2 年	教科書名（出版社）	新編 新しい数学 2（東京書籍）
		副教材	数学リポート学習 2

3 学習到達目標

- ・文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と性質の証明、一次関数、データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。【知識・技能】
- ・文字を用いて数量の関係や法則を考察する力、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し表・式・グラフと関連付けて考察し表現する力、複数の集団のデータの分布に着目してその傾向を比較し読み取る力、不確定な事象の起こりやすさについて考察する力を身に付ける。【思考力・判断力・表現力】
- ・数学的活動の楽しさや良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、より良く問題解決しようとする態度を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・教科書に沿って講義形式で進めていく。

○タブレットの活用

- ・演習プリントの問題と答えの提示、講義スライドの提示などに活用する。
- ・e ライブラリーを家庭学習に活用して予習と復習を行う。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

章末レポート・提出物（ワーク、レポート、長期休業中の宿題など）・学習カード・単元テスト（単元ごと）

○単元テストについて

単元の終わりに行います。時間は15～20分程度のテストです。

○その他のポイント

学習カードの評価は、単元の理解の深さを評価しています。まとめの項目を深く具体的に書きましょう。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容(時数)	評価規準(到達目標)	観点別評価方法
1 学期	1 章 式の計算(16) 1 節 式の計算(8) 2 節 文字式の利用(6) 章末問題・まとめ(2)	<知識・技能> ・整式の加法と減法、単項式の乗法と除法の計算ができる。 ・具体的な事象の中の数量関係を文字式で表したり、式の意味を読み取ったりできる。 ・等式の変形ができる。 <思考・判断・表現> ・いろいろな多項式の計算や式の値を求めることができる。 ・目的に応じて、等式を変形することができる。 ・数の性質や身の回りの事象を文字式を使って説明することができる。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	2 章 連立方程式(13) 1 節 連立方程式とその解き方(7) 2 節 連立方程式の利用(4) 章末問題・まとめ(2)	<知識・技能> ・2 元 1 次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立方程式とその解の意味を理解している。 ・加減法や代入法を用いて簡単な連立 2 元 1 次方程式を解くことができる。 <思考・判断・表現> ・いろいろな形の連立 2 元 1 次方程式を解くことができる。 ・連立 2 元 1 次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	3 章 1 次関数(20) 1 節 1 次関数(2) 2 節 1 次関数の性質と調べ方(8)	<知識・技能> ・1 次関数について理解している。 ・1 次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート
2 学期	3 節 2 元 1 方程式と 1 次関数(4) 4 節 1 次関数の利用(4) 章末問題・まとめ(2)	・1 次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ・2 元 1 次方程式を関数を表す式とみることができる。 <思考・判断・表現> ・1 次関数の性質を用いて問題が解ける。 ・身の回りの事象を、1 次関数とみなして問題を解決できる。 ・連立方程式と 1 次関数の関係性を理解して問題が解くことができる。	<思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	4 章 平行と合同(16) 1 節 説明のしくみ(3) 2 節 平行線と角(5) 3 節 合同な図形(6) 章末問題・まとめ(2)	<知識・技能> ・多角形の内角の和と外角の和を理解できる。 ・平行線と角の性質を理解している。 ・合同な図形の性質や三角形の合同条件を理解できる。 ・仮定と結論、証明の意味と方法を理解できる。 <思考・判断・表現> ・平面図形や平行線と角の性質を用いて問題を解くことができる。 ・図形の性質を三角形の合同条件を用いて証明できる。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
	5 章 三角形と四角形(22) 1 節 三角形(8)	<知識・技能> ・定義や定理、ことがらの逆の意味を理解している。 ・反例を用いてことがらを証明できる。 ・二等辺三角形や直角三角形、平行四辺形の基本的な性質を理解している。 ・長方形やひし形や正方形の定義を理解し、平行四辺形との相互関係を理解している。 ・平行線の性質を利用して等しい面積の図形どうしを見だすことができる。	<知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート

3 学期	2 節 平行四辺形(12) 章末問題・まとめ(2) 6 章 確率(10) 1 節 確率(6) 2 節 確率による説明(2) 章末問題・まとめ(2) 7 章 データの比較(6) 1 節 四分位範囲と箱ひげ図(4) 章末問題・まとめ(2) 予備時間 (2) 問題演習 調べ学習レポート	<思考・判断・表現> ・二等辺三角形や直角三角形、平行四辺形の性質を活用して問題が解ける。 ・既習事項を活用して、新たな性質を見だして証明することができる。 ・平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。 <知識・技能> ・同様に確からしい意味や確率の値の範囲を理解している。 ・起こりうる場合の数を、樹形図や表を用いて確率を求めることができる。 <思考・判断・表現> ・複雑な場合の数を求め、確率を求めることができる。 ・起こらない確率を活用して、問題を解くことができる。 <知識・技能> ・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 <思考・判断・表現> ・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、考察することができる。	<思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察 <知識・技能> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・定期テスト、単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察 <知識・技能> ・単元テスト ・章末レポート <思考・判断・表現> ・単元テスト ・章末レポート <主体的に学習に取り組む態度> ・提出物、学習カード ・授業観察
------	--	---	--

令和6年度 理科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 指定教科書

理 科	2 年	教科書名(出版社)	新しい科学 2
		副教材	理科の自主学習2年、作図・計算トレーニング、 中学理科ノート2年、理科便覧

3 学習到達目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

4 学習の進め方

○主な授業の進め方

- ・1単位時間ごとのねらいや学習活動を明確にして進める。
- ・「天気分野」とそれ以外の分野を並行してすすめていきます。「天気分野」を週に1時間、その他を週に3時間で進めていきます。

○思考力・判断力・表現力の育成方法

- ・質問について問題や課題なども含めて、自分の考え(仮の答えをもつ)ということを意識させる。
- ・レポートなど、書き方がわからない場合は、参考になるものを「まず見る」という習慣を身に付けさせる。
- ・タブレットのクラスルームの課題を活用し、レポートや振り返りを行わせる。

○望ましい家庭学習

理科の家庭学習は復習を中心に学習させる。第2学年の理科では、1学年の学習内容を基礎として、発展する内容が多くあり、予習・復習を十分に行うことが望ましい。その日の授業で学習したこと、特に記号や公式を利用した計算の方法など、授業でのノートを参考に、その日のうちに見直し、学習した内容を整理することが望ましい。また復習の一環として、eライブラリ等を活用し、何度も解く練習をすると良い。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習…章や単元の区切りに演習プリントを配布 定期考査前に質問教室の実施
- ・タブレットの活用…eライブラリを活用して自己学習(補充)を進める。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1,2 学期	単元Ⅰ 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなり立ち(8) 第2章 物質どうしの化学変化(7) 第3章 酸素がかかわる化学変化(6) 第4章 化学変化と物質の質量(6) 第5章 化学変化とその利用(4)	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 物質のなり立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)	○定期テストでの観点別の得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○(授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況

1,2 学期	単元2 生物の体のつくりとはたらき 第1章 生物と細胞(8) 第2章 植物のからだのつくりとはたらき(10) 第3章 動物のからだのつくりとはたらき(11) 第4章 刺激と反応(5)	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根の つくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根の つくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 動物が生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 動物が生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)	○定期テストでの観点別の得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○(授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況
--------	--	---	---

2,3 学期	単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測(15) 第2章 雲のつき方と前線(6) 第3章 大気の動きと日本の天気(9)	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な概念や原理・などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害についての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 日本の気象、自然のめぐみと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、日本の気象についての規則性や関係性、天気の変化や日本の気象との関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思)	○定期テストでの観点別の得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○(授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況
2,3 学期	単元4 電流とその利用 第1章 静電気と電流(6) 第2章 電流の性質(14) 第3章 電流と磁界(12)	静電気と電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や 原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基礎操作や記録などの基本的な技能を身につけている。(知) 静電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、静電気と電流の性質や規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流のはたらきを理解して、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(思) 電流と磁力線との関係、電流の磁気作用について見通しをもって観察、実験などを行い、実験結果を分析して解釈し、電流と磁界の関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究している。(思)	○定期テストでの観点別の得点 ○観察・実験の技能、および取組状況 ○観察・実験のレポートへの記述内容 ○(授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況 主体的に学習に取り組む態度 ○観察・実験における仮設設定 ○観察・実験への取組状況 (授業中の)課題に対する取組状況 ○授業への取組状況

令和 7 年度 音楽科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について、創意工夫を生かした実践的・体験的な活動をととして音楽に親しむとともに、よりよい音楽表現に必要な知識、技能を身に付ける。

2 指定教科書

音楽	2 年	教科書名（出版社）	中学生の音楽（教育芸術社） 音楽のおくりもの（教育出版）
		副教材	マイソング 7 訂版（教育芸術社）

3 学習到達目標

- ・音楽に対する理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することで、音楽文化に親しみ、生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
- ・日本で長く歌われ親しまれている歌曲や日本の伝統的な音楽に触れることによって、古くから受け継がれてきた日本の音楽のよさを味わい、愛着をもつ。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

教科書、ワークシートを用いて実践的・体験的な活動を中心に行うとともに、振り返りなどを記録に残す。

○タブレットの活用

必要に応じて授業内や家庭学習に活用し、表現活動、鑑賞活動に役立たせる。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・創作作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・プリント（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・歌唱及び器楽の実技テスト

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1 学期	オリエンテーションと声づくり（3） ・発声練習 ・校歌 ・翼をください ・空は今 曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう（3） ・夏の思い出 パイプオルガンの響きを味わおう（2） ・フーガ ト短調 混声合唱の響きを味わって歌おう（4） ・若い翼は ・合唱コンクール自由曲	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。 （知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。 （知）曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 （知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	<知識・技能> ・プリント ・定期考査 ・実技テスト <思考・判断・表現> ・プリント ・定期考査 ・実技テスト <主体的に学習に取り組む態度> ・プリント ・授業観察
2 学期	混声合唱の響きを味わって歌おう（6） ・若い翼は ・合唱コンクール自由曲 世界の様々な声の音楽を味わおう（2） 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう（2） ・交響曲第5番 ハ短調 箏の音色に親しみ、さまざまな奏法を身に付けよう（5）	（知）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 （思）曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。 （知）諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 （思）生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 （知）曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 （知）音楽の特徴とその背景の文化や歴史との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表す。 （思）どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	
3 学期	歌舞伎に親しみ、日本の伝統音楽の魅力を味わおう（2） ・歌舞伎「勧進帳」 オペラの魅力を味わって聴こう（2） ・オペラ「アイダ」 言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう（4）	（知）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 （知）曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 （思）曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 （知）言葉の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 （技）創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表す。 （思）まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。	

令和 7 年度 美術科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

- ・美術作品や文化遺産など美しさや良さを感じ取ったり、制作の喜びを味わったりすることによって自分自身の生活を豊かにできる力を養う。

2 指定教科書

美術	2 年	教科書名(出版社)	日本文教出版
		副教材	・シナベニア ・鳥の子紙 ・ピグメントライナー

3 学習到達目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。
- ・主題に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的な美しさやよさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができるようにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。

○タブレットの活用

- ・道具の使い方について、動画を通していつでも確認できるようにする。
- ・鑑賞の際、細部まで確認できるようにする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・アイディアスケッチ等のプリント（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・毎授業取り組む作品制作

○その他のポイント

- ・補助プリントである作品管理表を使い、先を見通した作品制作の計画建て

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
Ⅰ学期	・オリエンテーション（1） ・絵画 【素描・光と影】 ・透視図：絵画、デザイン、鑑賞 【一点透視図、二点透視図法】（4） ・立体感のある平面構成：デザイン ・色の三要素：絵画、デザイン（寒色・暖色・補色） ・平面構成の基本：絵画、デザイン ・静と動の平面構成 ・レタリングの練習（10）	・形の規則性や連続性、構造などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然物の特徴などを生かして模様をデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・自主的に準備、制作、片付けができる。 ・構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。 ・浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 ・伝えたい内容と分かりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい内容と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・形の規則性や連続性、構造などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然物の特徴などを生かして模様をデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	<知識・技能> 定期考査、作品 <思考・判断・表現> 定期考査、作品、アイディアスケッチ <主体的に学習に取り組む態度> 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限

2 学期	・木版画取材：地域撮影 ・木版画：工芸、彫刻、絵画、鑑賞（7） ・平面構成の基本：絵画、デザイン ・静と動の平面構成 ・レタリングの練習（10）	・形や色彩などが感情にもたらす効果や、表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・構図や色彩、線などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、日本美術の作風や印象が西洋美術からどのように影響を受けているかを理解している。 ・生命感や躍動感、動物の特徴やイメージを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・日本美術の表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に動物の特徴やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的にジャポニズムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<知識・技能> 定期考査、作品 <思考・判断・表現> 作品、アイディアスケッチ <主体的に学習に取り組む態度> 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限
3 学期	・白黒で表現するイラストレーション：絵画、鑑賞（8）	・抽象絵画を通し、形や色彩、材料などの性質、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。 ・動画の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 ・目的や条件との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、見る人の立場、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、心地よく生活するための視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・伝えたい場面やイメージなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や条件との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、乗車する人の立場、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、心地よく生活するための視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい場面やイメージなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<知識・技能> 定期考査、作品 <思考・判断・表現> 定期考査、作品、アイディアスケッチ <主体的に学習に取り組む態度> 観察、定期考査、準備、片付け、忘れ物、提出期限

令和 7 年度 保健体育科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

各種目の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに基本的な技能を身に付ける。運動や健康について課題を発見し解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。生涯運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく、豊かな生活を営む態度を養う。

2 指定教科書

保健 体育	2 年	教科書名（出版社）	中学校保健体育（大日本図書）
		副教材	中学保健学習ノート 1～3 年（正進社）

3 学習到達目標

- ・心と体の健康増進に向けて基本的な技能を身につけることができる。
- ・自己の課題や解決策を考え判断し、他者に伝えることができる。
- ・公正に取り組むこと、互いに協力すること、自己の役割を果たすこと、お互いを認めることへの意欲と健康・安全に留意して最善を尽くすことができる。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

- ・授業規律（集合、整列、号令）などを大切にし、集団での行動を常に意識し、授業に取り組む。
- ・グループ学習等の話し合い活動に取り組み、学習カードによる授業の振り返りや技能の考察を丁寧に継続する。
- ・定期テスト前には、学習カードや保健授業を振り返り、各種目、各単元のルールやポイントを復習する。

○タブレットの活用

- ・グループ学習やペア学習の中で、動作を撮影し合い、自分の動きや仲間の動きを分析できるようにする。
- ・見本の動作を事前に確認することで、技等のポイントをつかみやすくする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・理解	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・学習カード（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）・スキルテスト（知識・技能）
- ・ゲーム中の動きや練習中の動きの様子（知識・技能）・仲間との関わり方、安全への配慮等の様子（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

○単元テストについて

- ・スキルテストを各単元にて実施

○その他のポイント

- ・学習カードを用いて、知識や技術の定着を図ります。授業内容をよく振り返り、記入してください。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価規準（到達目標）	観点別評価方法
1 学期	体づくり運動 ・体の動きを高める運動（3） ・表現活動、集団行動（3） 陸上競技 ・短距離走・リレー（5） ・走り高跳び・ハードル（6） 水泳 ・クロール・平泳ぎ（4） ・背泳ぎ・バタフライ（4）	ねらいや体力に合わせて運動を組み合わせている。 「思考・判断・表現」 集団に合わせて、素早く行動することができる。 「知識・技能」 滑らかな動きで速く走ることができる。「知識・技能」 スピードを生かしたバトン渡しができる。「知識・技能」 リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。「知識・技能」 お互いの動作を分析して、適切な助言ができる。 「思考・判断・表現」 健康・安全に留意して取り組むことができる。 「思考・判断・表現」 特性に応じた泳法を身に付けている。「知識・技能」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察 提出物
2 学期	体づくり運動 体の動きを高める運動（4） 器械運動 ・マット（8） 球技（ゴール型） ・ラグビー（8） 球技（ネット型） ・バレーボール（8） ダンス ・創作ダンス（8） 保健分野 健康な生活と疾病の予防（6） 陸上競技 長距離走（6）	役割に応じた活動の仕方を身に付けている。「思考・判断・表現」 基本的技能を習得している。「知識・技能」 健康・安全に留意している。「思考・判断・表現」 健康・安全に留意している。集団行動を重んじている。 「思考・判断・表現」 勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとしている。 「思考・判断・表現」 運動の行い方のポイントを身に付けている。「知識・技能」 分担した役割を果たそうとし、課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。 「思考判断・表現」 基本的技能を習得している。「知識・技能」 ゲーム内で特性にあった動きをしている。「思考・判断・表現」 クラスの課題解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。 「思考・判断・表現」 リズムの特徴をとらえ全身で踊るための動きができる「知識・技能」 調べたことを基にそれらを説明している。「知識・技能」 理解したことを言ったり、書き出したりしている。 「思考・判断・表現」 ポイントを意識した動きで速く走ることが出来る。「知識・技能」 コーチ役としての役割を果たしている。「思考・判断・表現」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察

3 学期	武道 ・柔道（7） 体育理論 ・運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全（3） 保健 ・傷害の防止（8） 球技（ベースボール型） ・ベースボール（7） （ゴール型） ・サッカー（7）	健康・安全に留意している。 「思考・判断・表現」 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技ができる。 「知識・技能」 理解したことについて言ったり書き出したりしている。「思考・判断・表現」 出された意見や集めた情報をまとめている。「知識・技能」 調べたことを基にそれらを説明している。 「思考・判断・表現」 分担した役割を果たそうとし、課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。 「思考・判断・表現」 基本的技能を習得している。 「知識・技能」 ゲーム内で特性にあった動きをしている。 「知識・技能」	<知識・技能> 授業観察 記録 スキルテスト 自習課題 学習カード 定期考査・単元テスト <思考力・表現力・判断力> 授業観察 学習カード 定期考査・単元テスト <主体的に学習に取り組む態度> 授業観察 提出物
------	---	--	--

令和 7 年度 技術科 第2学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

日常生活で活用している技術を理解し、自分の身の回りにある問題に気づき、解決する力を育むため、今年度はエネルギー変換の技術による問題解決および生物育成の技術による問題解決、技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2 指定教科書

技術科	2年	教科書名(出版社)	技術・家庭 技術分野 開隆堂
		副教材	力の伝達を学ぶキット(TECH 未来)、栽培キット

3 学習到達目標

- ・生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基礎的な理解とそれらにかかわる技能を身に付ける。
- ・生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解とそれらにかかわる技能を身に付ける。

4 学習の進め方

・授業の進め方

教科書、ワークシートを用いた授業を行う。

・思考力・判断力・表現力の育成方法

ワークシートに、自分の考えを記入し、課題によっては周りの人と話し合いの時間を設ける。

他の人の考えを確認することで、自分の考えを深めていく。

・望ましい家庭学習

授業の中で課題を提示するので、家庭生活の中で考える。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 補充学習・タブレットの活用

- ・補充学習 ワークシートの記入状況などを確認し、遅れを感じる生徒には必要に応じて実施をする。
- ・タブレットの活用 必要に応じて授業の中で使用する。

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容(時数)・項目	評価規準(到達目標)	評価の観点と方法
1 学期	エネルギー変換の技術(7) ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術(1) ・エネルギーの利用(1) ・発電と送電の仕組み(1) ・電気エネルギーの特徴(1) ・電気を変換する仕組み(1) ・電気機器と回路図(1) ・電気機器の安全な利用(1) 生物育成の技術(5) ・生活や社会を支える生物育成の技術(1) ・様々な生物育成の技術(4)	「知識・技能」 ・エネルギーが社会で利用されるために必要な変換や輸送を理解できる。 ・電気エネルギーの種類や特徴について理解できる。 ・育成する生物の成長、生物の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法との基礎的な技術の仕組みについて理解できる。 「思考・判断・表現」 ・電気エネルギーの使用に関する問題点を見出して解決策を構想し、考察できる。 ・電気機器の定格について起こり得る課題を見出して、解決策を構想し考察できる。 ・技術に込められた問題解決の工夫を理解できる。	〈知識・技能〉 作品 ワークシート 定期考査 〈思考力・判断力・表現力〉 ワークシート、定期考査 〈主体的に学習に取り組む態度〉 作品 ワークシート
2 学期	生物育成の技術(6) ・生物育成の技術による問題解決(5) ・社会の発展と生物育成の技術(1) エネルギー変換の技術(9) ・運動の利用(1) ・動きを変化させる仕組み(4) ・「機構」の設計・制作(4) TECH 未来	「知識・技能」 ・電気機器の保守・点検について理解できる。 ・電気機器の構成を知り、適切な工具を用いて製作する技能を持っている。 ・育成する生物の成長、生物の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法との基礎的な技術の仕組みについて理解できる。 「思考・判断・表現」 ・電気機器の保守と点検について問題点を見出して解決策を構想し、考察できる。 ・電気機器の構成を適切に判断し、製作に関して起こりうる課題を見いだし解決策を構想し、考察できる。 ・技術に込められた問題解決の工夫を理解できる。	
3 学期	エネルギー変換の技術(9) ・「機構」の設計・制作(7) ・TECH 未来・問題解決の評価、改善、修正(1) ・社会の発展とエネルギー変換の技術(1)	「知識・技能」 ・電気機器の保守・点検について理解できる。 ・電気機器の構成を知り、適切な工具を用いて製作する技能を持っている。 「思考・判断・表現」 ・電気機器の保守と点検について問題点を見出して解決策を構想し、考察できる。 ・電気機器の構成を適切に判断し、製作に関して起こりうる課題を見いだし解決策を構想し、考察できる。	

令和 7 年度 家庭科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付ける。

2 指定教科書

家庭科	2 年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野
		副教材	ワークノート 衣生活・住生活（地域教材社） ティッシュ BOX ケースの製作（優良教材） 平面計画シミュレーションシール（教育図書）

3 学習到達目標

- ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。【知識・技能】
- ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】
- ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

4 学習の進め方

○授業の進め方

本時のねらいを明確にし、見通しをもたせた授業展開とする。デジタル教材、視覚的資料を用いて、基礎・基本の定着を目指す。実習では、安全に取り組むことが大切であり、実生活において活用できる力を身に付ける。

○思考・判断・表現

ワークシートに、自分の考えを記入した後、周りの人と話し合いをする時間を設ける。他の人の考えを聞き書くことで、自分の考えを深めていく。

○望ましい家庭学習

授業での学びを自分の生活の中で活用し、よりよい生活の実現を目指す。

5 評価計画

【評価基準】

【評定への配分】

【評定基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

- ・作品（知識・技能、思考・判断・表現）
- ・ワークシート（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ・授業観察（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

7 年間指導・評価計画

学期	学習内容（時数）・項目	評価規準（到達目標）	評価の観点と方法
1 学期	B 衣食住の生活（衣生活） 1 衣服のはたらきと手入れ（4） ・自分らしくコーディネート ・つなげよう和服の文化 ・上手な衣服の選択 2 衣服の選択と着方（3） ・衣服の手入れ ・布の繊維に応じた手入れ ・洗濯について ・補修や収納・保管 3 布を用いた作品で生活を演出（5） ・ティッシュ BOX ケースの製作	〈知識・技能〉 ・衣服と社会生活との関わり（和服）が分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用および衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ（補修、洗濯と保管）について理解しているとともに、適切にできる。 〈思考・判断・表現〉 ・自分らしい着方について考え、工夫している。 ・材料や状態に応じた日常着の手入れ（補修、洗濯と保管）の仕方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 〈知識・技能〉 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 〈思考・判断・表現〉 ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定している。実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	〈知識・技能〉 定期考査 作品 ワークシート 授業観察 〈思考・判断・表現〉 定期考査 作品 ワークシート 授業観察 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ワークシート 授業観察、授業への取り組み方
2 学期	4 持続可能な衣生活（1） A 家族・家庭生活（11） 4 幼児の生活と家族 ・幼児の体、心の発達 ・発達にとってのおとなの役割 ・遊びが必要なわけ ・おもちゃの製作 ・遊びを支える環境 5 幼児が安心できるかわり ・子どもの成長と地域 ・持続可能な家庭生活 6 家庭生活と地域のかかわり（3） ・家庭生活と地域での活動 ・多様な人々が暮らす地域 ・地域に暮らす高齢者 ・介助体験 ・高齢者とのかわり	・持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 〈知識・技能〉 ・幼い頃を振り返り、周囲の人との関わり大切に気付いている。 ・幼児の身体発達の特徴について理解している。 ・幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 〈思考・判断・表現〉 ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児との関わりについて課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。 〈知識・技能〉 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 〈思考・判断・表現〉 ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだすことができる。課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3 学期	B 衣食住の生活（住生活）（8） 1 人間にとっての住まい 2 生活に必要な住空間 3 自然とともにある住生活 ・日本の気候風土と住まい 4 安全で健康的な住生活 ・家庭内事故への備え ・室内環境を健康に保つ ・災害に備えた空間 5 持続可能な住生活	〈知識・技能〉 ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活（和式と洋式、気候風土）と住空間の関わりについて理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 〈思考力・判断力・表現力〉 ・室内の空気環境など家族の健康を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。	

令和 7 年度 英語科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1 年間のねらい・到達目標

英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 指定教科書

英語	2 年	教科書名（出版社）	Here We GO! ENGLISH COURSE 2（光村図書）
		副教材	めきめき English（浜島書店）・W プリント（新学社） サマーアプローチ（教育同人社）

3 学習到達目標

- ・ 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や話の概要、短い説明の要点を聞き取とることができる。
- ・ 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や短い文章の概要や要点を読み取ることができる。
- ・ 関心のある事柄について即興で伝え合ったり、日常的な話題について、事実や自分の考えなどを伝え合ったりすることができる。
- ・ 関心のある事柄について即興で話したり、日常的な話題について、事実や自分の考えなどを話したりすることができる。
- ・ 関心のある事柄について正確に書いたり、日常的な話題について、まとまりのある文章を書いたりすることができる。

4 学習の進め方

○授業の主な進め方

教科書をベースに「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の 4 技能 5 領域をバランスよく伸ばす活動を行う。

○タブレットの活用

デジタル教科書を活用したり、言語活動を行う際に、スライドやドキュメントなどの文書作成ソフトやプレゼンテーション作成ソフトを活用したりする。

5 評価計画

【評価基準】

観点別学習状況の評価		学習の実現状況
A	十分満足できる	80%以上
B	おおむね満足できる	50%以上
C	努力をようする	50%未満

【評定への配分】

観点	配分
知識・技能	1
思考・判断・表現	1
主体的に学習に取り組む態度	1

【評定基準】

評定		各評定の範囲
5	特に高い程度のもの	90%以上
4	十分満足できる	80%以上
3	おおむね満足できる	50%以上
2	努力をようする	20%以上
1	一層努力をようする	20%未満

6 評価のポイント

○定期テスト以外の評価物

主として話すこと [やり取り] や話すこと [発表] のパフォーマンステストを行う。

○単元テストについて

各 Unit が終わったタイミングで行う。

○その他のポイント

基本的に主体的に学習に取り組む態度は思考・判断・表現と一体的に評価し、振り返りシート等の記述

内容や授業中の言語活動への取組の様子を加味する。

7 年間指導・評価計画

学期	単元・学習内容（時数）	評価基準（到達目標）	観点別評価方法
I 学期	Unit1 Hajin's Diary (12)	<知識・技能> ・動詞の過去形、接続詞 when、「look[sound]+形容詞」の文について理解するとともに、日記の内容を読み取ったり、日記を書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・日記を書くときの参考にするために、登場人物の日記を読んで、おおまかな内容を捉えている。 ・身近な出来事や気づきを書き留めて、ときどき自分の成長を振り返るために、情報を整理して、日記を書いている。	<知識・技能> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト <思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Daily Life1 電話(3)	<知識・技能> ・Can you ～? という言い方や電話特有の表現について理解するとともに、電話で何かを頼んだり応じたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・友達と出かける約束をするために、伝えたい情報を整理して、電話で用件を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Unit2 Basketball Tournament (12)	<知識・技能> ・動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞 that について理解するとともに、学級レクリエーションについて、会話の内容を聞き取ったり、希望や意見を伝え合ったりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・レクリエーションの企画の参考にするために、登場人物の話から、企画に必要な情報を聞き取っている。 ・したいことや大切だと思えることが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝え合っている。	パフォーマンステスト リスニングテスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
	Daily Life2 ラジオのニュース (1)	<知識・技能> 接続詞 when、動名詞や不定詞の名詞的用法、How long ～?などの意味や働きについて理解するとともに、けん玉の大会の話題と優勝者のインタビューを紹介したラジオニュースの内容を聞き取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> どのようなことが話題に取り上げられているかを知るために、ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えている。	
	Active Grammar1 (1)	<知識・技能> ・動名詞や、不定詞の名詞的用法について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	Unit3 Plans for the Summer(12)	<知識・技能> ・be going to, 助動詞 will, 接続詞 if の文について理解するとともに、旅行の予定などについて書かれたメールの内容を読み取ったり、予定や希望をメールに書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・届いたメールの返事を書くために、旅行の予定などについて書かれたメールから、用件や返事が必要な情報を読み取っている。 ・ホームステイ先の相手に用件や気持ちが伝わるように、届いたメールの内容をふまえて予定や希望などの伝えるべきことを整理し、簡単な語句や文を用いてメールの返事を書いている。	
	Daily Life3 アナウンス (1)	<知識・技能> ・数字や時刻・時間、天気、気温の言い方、助動詞 will などの意味や働きについて理解するとともに、空港や機内のアナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・日本行きの飛行機に搭乗できるように、便の変更を知らせる空港アナウンスから、必要な情報を聞き取っている。	
	Active Grammar2 (1)	<知識・技能> ・be going to や助動詞 will について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	Let's Read1 The cookies (2)	<知識・技能> ・出来事の順序や時を表す語句、人物の動作や気持ちを表す語句、接続詞 when などクッキーを巡る 2 人の男女の物語の内容を読み取る技能を身につけている。	

		<思考・判断・表現> 読むことの楽しさを味わうために、クッキーを巡る 2 人の男女の物語を読み、あらすじを捉えている。	
	Daily Life4 レストラン (1)	<知識・技能> ・Shall I ～?や Would you ～?など注文のやり取りに特有の表現について理解するとともに、飲食店での注文のやり取りをする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> シンガポールのレストランで朝食を食べるために、メニューをもとに注文のやり取りをしている。	
	You Can Do It!! (3)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、交換留学生の自己紹介文の内容を読み取ったり、観光プランを書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・2 人の交換留学生にぴったりの観光プランを考えるために、2 人の興味・関心について書かれた自己紹介文から、必要な情報を読み取っている。 ・2 人の交換留学生に町の魅力を知ってもらうために、2 人の興味・関心をふまえて見どころやかかる時間等の情報を整理して、観光プランを書いている。	
	World Tour I (1)	<知識・技能> 既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、インタビュー動画の内容を聞き取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・シンガポールにいる人について知るために、それぞれの人が出身国やシンガポールの好きなところについて話すインタビュー動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	
2学期	Unit4 Tour in Singapore (12)	<知識・技能> ・There is ～. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法について理解するとともに、シンガポール・グルメの紹介サイトの内容を読み取ったり、町の名物について説明したりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・Tina と David の希望に合う昼食をとる場所を探すために、シンガポール・グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取っている。 ・町の名物の魅力が他の国や地域の人に伝わるように、伝えたい情報を整理して、自分が紹介したい名物について詳しく説明している。	<知識・技能> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト <思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Active Grammar3 (1)	<知識・技能> ・「S+V+O」、「S+V+O+O+」の文について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	パフォーマンステスト リスニングテスト
	Unit5 How Do You Stay Safe? (12)	<知識・技能> 助動詞 must、「have to+動詞の原形」、不定詞に代わる It の文について理解するとともに、災害時に必要なものについて、説明の内容を聞き取ったり、意見を伝えたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・「中学生用 防災バッグ」に入れるものを話し合うときの参考にするために、災害時に役立つものについての説明から、必要な情報を聞き取っている。 ・「中学生用 防災バッグ」の見本を作るために、必要なものとその理由など伝えたい情報を整理して、バッグに入れるべきだと思うものについての意見を伝え合っている。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト 授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。
	Daily Life5 電車の乗り換え (1)	<知識・技能> ・May I ～?, 「how to+動詞の原形」、Could you tell me the way to ～?など道案内特有の表現について理解するとともに、電車の乗り換えについてたずねたり、案内をしったりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・外国から来た旅行者が目的地にたどり着けるように、電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内したりしている。	
	Daily Life6 体調不良 (1)	<知識・技能> 助動詞 should や、体調に関するやり取りに特有の表現や語句などの意味や働きを理解するとともに、体調をたずねたり、助言をしったりする技能を身につけている。	

	Active Grammar4 (1)	<知識・技能> ・助動詞 can, will, may, shall, could, would, must, should について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	Unit 6 Guide Dog (12)	<知識・技能> ・目的を表す不定詞の副詞的用法、接続詞 because、原因を表す不定詞の副詞的用法の文について理解するとともに、ボランティア活動について、紹介記事の内容を読み取ったり、紹介記事を書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・ボランティア活動についての紹介記事を書くときの参考にするために、Kota が書いた記事を読んで、おおまかな内容を捉えている。 ・学校新聞を読んだ人に「活動に参加したい」と思ってもらえるように、伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書いている。	
	Active Grammar5 (1)	<知識・技能> ・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	Active Grammar6 (1)	<知識・技能> ・接続詞 when, if, because, that について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
	Let's Read2 Meet Hanyu Yuzuru (3)	<知識・技能> ・不定詞、接続詞 when, because, that、助動詞 can [could], may などについて理解するとともに、羽生結弦さんのインタビュー記事の内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・羽生結弦さんの経歴や思いを知るために、インタビュー記事を読み、おおまかな内容を捉えている。	
	You Can Do It! 2 (3)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、町のイベントについての会話の内容を聞き取ったり、提案内容を発表したりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・「誰一人取り残さないイベント」を提案するために、町の人のインタビューから、必要な情報を聞き取っている。 ・イベントの実行委員としての役割を果たすために、自分の意見や考えを整理して、「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をしている。	
3学期	Daily Life7 オンラインツアー (1)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、ツアーの開催案内や参加者のレビューの内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・友達といっしょに楽しむことができるツアーを見つけるために、オンラインツアーの案内や参加者のレビューから、必要な情報を読み取っている。	<知識・技能> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト <思考・判断・表現> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	World Tour2 (2)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、世界で活躍する人について紹介する音声や動画の内容を聞き取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 世界で活躍する人について知るために、その人がしていることなどを紹介する音声を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	<主体的に学習に取り組む態度> 定期考査 単元テスト パフォーマンステスト リスニングテスト
	Unit7 Amazing Australia (12)	<知識・技能> ・-er, -est を使う比較級や最上級、more, most を使う比較級や最上級、as ~ as ...の文について理解するとともに、ポスター案についての説明の内容を聞き取ったり、ポスター案についての意見を伝え合ったりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・採用するポスター案を決めるために、それぞれの案の工夫した点などについての説明を聞いて、おおまかな内容を捉えている。 ・採用するポスター案を決めるために、複数のポスター案を比べて、自分の意見とその理由を伝え合っている。	授業中の言語活動への取組の様子 振り返りカードの記述内容 ※思考・判断・表現と一体的に評価する。

Active Grammar7 (1)	<知識・技能> ・比較表現について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
Unit8 Staging a Musical (12)	<知識・技能> ・「want+人+不定詞」、「make+人・もの+形容詞」、受け身の文について理解するとともに、気持ちを伝える手紙の内容を読み取ったり、自分の気持ちを伝える手紙を書いたりする技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・Eri の気持ちを伝えるために、チョコレートに添えられた手紙から、Eri の意図や気持ちを読み取っている。 ・Eri に意図や気持ちを伝えるために、Hajin になったつもりで伝えたいことを整理して、手紙の返事を書いている。	
Active Grammar8 (1)	<知識・技能> ・受身の文について理解するとともに、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	
World Tour3 (1)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに世界のワンダーについて説明を聞き取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> ・世界のワンダーについて知るために、その特徴などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	
Let's Read3 Emoji-From Japan to the World (4)	<知識・技能> 接続詞 so, because など因果関係を示す語句、受け身の文について理解するとともに、絵文字についての説明文の内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 絵文字の世界での広まり方や使われ方などを知るために、説明文を読み、おおまかな内容を捉えている。	
You Can Do It!3 (3)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、郷土かるたの札の内容を読み取ったり、地域の魅力が伝わると思う名所や名産品について意見を伝え合ったりする技能を身につけている <思考・判断・表現> かるたの内容を考えたときの参考にするため、各地域の郷土かるたの札の説明を読み、おおまかな内容を捉えている。	
Let's Read More 1 Plastic Food Samples (2)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、食品サンプルについての記事の内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> 食品サンプルがどこで生まれ、どのように作られているかなどを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えている。	
Let's Read More2 Ainu, My Voice (2)	<知識・技能> ・既習の表現・語句の意味や働きを理解するとともに、映像作品を紹介したブログの内容を読み取る技能を身につけている。 <思考・判断・表現> Tina が紹介している作品の内容を知るために、ブログを読み、おおまかな内容を捉えている。	